



学校だより



2月号

横浜市立港南台第一小学校

Tel:832-0210 Fax:832-7771 Email:y3konan1@edu.city.yokohama.jp

心の支度

校長 大石 礼子

大寒を過ぎても厳しい寒さが続きます。先日の雪は、港南台のまちを銀世界に変えてしまいましたが、翌日は晴天に恵まれたのであつという間に雪が解けてしまいました。子どもたちは、少し残念そうでしたが、校庭の所々には雪が解け残り、日の当たらない場所には雪が氷のように固まってキラキラと朝日に輝く様子を楽しげに見ている子どもたちもいました。冬ならではの光景に心躍らせているのだなと感じます。雪が降った当日の授業参観・懇談会には、悪天候の中、ご来校くださいました保護者の皆様ありがとうございました。また、子どもたちの登下校についてもご理解ご協力をいただき誠にありがとうございました。2月に入り寒い日が続き天候不順も予想されますので、子どもたちの安全な登下校に努めます。さらにインフルエンザや感染症胃腸炎などの流行も、まだまだ心配されます。本校でもこれまで以上に衛生管理や子どもたちの健康に気を付けますが、ご家庭でもお子様（ご家族）の健康管理をお願いいたします。

卒業を控えた6年生の教室に今の自分の気持ちや思いを詩に表したものが掲示されています。いくつかの詩の中からその一部分をご紹介します。『僕は、輪の中でとぎれずに生きていけるだろうか』『13個目の引き出しには、どんなものが入るのだろうか』『のりこえよう つらいことも さあ前を向いて』『胸のモヤモヤが止まらない』『注意深く波にのまれないように』『私はこれからも歩み続ける』・・・これらの詩を読んで、以前6年生の国語の教科書にあった詩を思い出しました。

支度 黒田 三郎	何の匂いでしょう これは これは春の匂い 真新しい着地(ぎで)の匂い 真新しい革の匂い 新しいものの 新しい匂い	匂いのなかに 希望も 夢も 幸福も うっとり 浮かんでくるようです	ごったがえす 人いきれのさなかで だけどちよっぴり 気がかりです 心の支度は どうでしょう もつできましたか
-----------------	--	--	--

懐かしく感じられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。卒業が近づいた6年生の子どもたちと一緒にこの詩の意味を考えたことを思い出します。これから新しい世界に向かうためには、どんな気持ちをもって、どんな支度（準備）をしたらいいのか自ら問いかけながら、この詩を味わったりこれからのことを語り合ったりしました。本校の6年生の詩からも不安な気持ちと夢や希望にあふれている心もちが、それぞれの詩から読み取ることができます。それぞれの子どもたちが、新しい世界に羽ばたくための心の支度（準備）をしているのだなと感じて、うれしく思いました。

2月は、何かをするために必要なものや態勢を「ととのえる」時期だと思います。この一年の成長を振り返るとともに次への支度（準備）をすることで、将来への自分の成長につながっていきますので、ひとり一人が、自分の支度をしてほしいと思います。